

《演習科目 演習科目》

科目名	専門演習				
担当者氏名	吉田 健、アレックス・M・林、井上 敏孝、植原 和彦、大隅 敏明、岡 美佳、笠川 武史、加藤 達雄、坂口 静子、白川 晴美、中村 哲也、昇 慶一、ビル ロッケンバッハ、丸井 理恵、山崎 徳子、山本 元子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	3年・通年（春期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<input type="radio"/> 演習-1 国際社会に貢献できる人材育成 <input type="radio"/> 演習-2 豊かな人間性の醸成 <input type="radio"/> 演習-3 コミュニケーション能力の向上 <input checked="" type="radio"/> 演習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

卒業論文が作成できる基礎的な知識・技能の修得をとおこなう。

。 専門書の読み方の演習 諸資料の収集の仕方と処理の仕方の演習 卒業論文のテーマ決定に向けての指導とその分野に関しての小論文の作成指導

《テキスト》

授業時にプリント等を配布。

《参考図書》

随時、資料は授業時に紹介する。

《授業の到達目標》

卒業研究に必要な専門的知識の基礎を獲得すること。

《授業時間外学習》

授業時間外で資料収集・調査や論文作成をすることが多い。その内容を授業で報告することがある。

《成績評価の方法》

秋期終了時にミニ論の報告及び論文提出が必修条件である。報告・論文 60%、総合所見40%により評価する。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、研究室訪問について
2	研究室訪問	集団研究室訪問
3	研究室訪問	個別研究室訪問
4	研究室指導	研究室決定、個別ガイダンス
5	研究室指導	問題意識の掘り起こし、個人面談
6	研究室指導	問題意識の整理、個人面談
7	研究室指導	情報収集の方法
8	研究室指導	図書館の利用方法
9	研究室指導	インターネットの情報収集方法
10	研究室指導	研究内容の決定
11	研究室指導	仮説の設定
12	研究室指導	研究方法の確認
13	研究室指導	年間計画の作成
14	全体指導	卒論報告会参加（前半）
15	全体指導	卒論報告会参加（後半）